

	項目	ポイント	評価・取り組み状況
教育・保育（健康 人間関係 環境 言葉 表現）	1 生理的な欲求を満たし生命の保持と情緒の安定を図る		・個々の思いを受け止め安心して過ごせるようにした・丁寧なかかわり・スキンシップ・気持ちに寄り添い情緒の安定を図る・個々にあった言葉がけ・生理的欲求を受け入れる・少人数に分かれた保育を取り入れ個々のかかわりを大切にする
	2 行動範囲が広がり探索活動が盛んになり心身ともに快適な生活をする		・興味や関心を持ったことをタイムリーに遊びに移せる環境づくり・コーナーづくり等環境を整える・子供が自由に出し入れできる遊びの環境づくり
	3 保育教諭や友だちとの繋がりを深め、自分の伝えたいことや思いを表現する		・自分が表現できるように言葉のやり取りや関わりを深める・友達とやり取りする楽しさが味わえるようにする・保育者が仲立ちしながら思いが出せるように・スキンシップを十分とり、案して思いを表現できる信頼関係を作る
	4 保育教諭や友だちとのつながりを深め集団としての行動が出来る		・遊びを通して自己の思いを発揮し、周りに目が向けられる遊びの工夫・友達とやり取りする楽しさを感じながら集団での活動に取り組めるようになってきている・自分の思いを相手に伝えながら集団での活動へもスムーズに取り組んでいる
	5 集団生活の中で、意欲的に活動し知識や能力を獲得し達成感や充実感を味わう		・年齢にあった遊びの提供をしながら、自己発揮し、認めたりほめたりしながら、達成感や充実感が味わえるようにしている・個々の意欲を見逃さず、援助しながら、暫西間が味わえるようにほめたり、喜びを共感していく
	6 環境を通じた教育及び保育活動の充実		・コロナ禍、夏場は熱中症アラート等社会事情により保育の制限が多かったが、季節に応じた制作や活動を取り入れたり様々な素材に「触れて遊ぶように工夫をしていった
情報提供 人材育成 公共機関との連携	7 特別な配慮が必要な園児の指導		・個に合わせた適切な対応と信頼関係を気づけるよう心掛けた・家庭・関連施設との連携・職員間での情報共有
	8 家庭・地域社会との連携		・家庭との連携は子供を見守りながら、送迎時・連絡ファイル等、細かい配慮をしている・地域社会との連携はコロナ禍が落ち着きさ再開の予定
	9 職員間の連絡および協力体制		・情報の共有・クラスの枠を超えてお互いを思いやりながら協力し合うこと・報連相を密にしながら連携をとりあう
	10 小学校との円滑な接続		・コロナ禍にあり、積極的な連携をすることができず、書面や伝達になった。子供たちは就学に向けて期待が持てるよう具体的なイメージが持てるよう話を進めていく 未知の世界に対する不安が大きくなるよう配慮する

評価ポイント

5 達成した      4 ほぼ達成した      3 十分達成していない      2 達成していない      1 取り組みが不十分である